

ミニシタ
あぜみち通信

* * * * *

平成29年6月1日

第198号

編集・発行：(一社)愛知県農業会議

◎ **全国農業委員会会長大会が開催されました**

5月29日に東京都文京区の「文京シビックセンター」において、一般社団法人全国農業会議所主催の平成29年度全国農業委員会会長大会が開催されました。

本県からは、川上愛知県農業会議会長、39市町村農業委員会の会長、会長職務代理、事務局長等総勢69名が参加しました。

大会前に、「第9回耕作放棄地発生防止・解消活動」の表彰式が行われ、農林水産大臣賞は、長野県において、JA出資型農業法人で、協同組合機能を発揮した多岐に亘る事業を営む中で、耕作放棄地再生利用事業で取り組んだ「ワイン用ぶどう生産団地造成」で成果を挙げている有限会社信州うえだファームが受賞したほか、農事組合法人、農業委員会等の23団体に農村振興局長賞等が贈られました。

大会開会にあたり二田全国農業会議所会長の大会趣旨説明等の挨拶、山本農林水産大臣及び衆議院の北村農林水産委員長の来賓挨拶がありました。

その後、議長に望月長野県農業会議会長と清家愛媛県農業会議会長が選出され、大会が開始されました。

伊藤全国農業会議所事務局長の経過及び情勢報告後、議事に入り、

「農業・農村の持続的発展と競争力強化に向けた政策提案決議」、「『新・農地を活かし、担い手を応援する全国運動』のさらなる推進に関する申し合わせ決議」、「『情報提供活動』の一層の強化に関する申し合わせ決議」及び「平成29年度全国農業委員



【主催者挨拶する二田会長】

会会長大会実行運動計画」の計4議案が提案され、満場拍手で決議されました。

農業委員会活動の実践を踏まえた決意表明を茨城県桜川市農業委員会の藤田農地利用最適化推進委員、岐阜県山県市農業委員会の操農地利用最適化推進委員及び京都府京丹後市農業委員会の梅田会長が行いました。

最後に、要請決議等の実現に向け、片山岡山県農業会議会長の発声によりガンバロー三唱を行い閉会しました。

大会終了後、政府及び各党に対して決議事項の実現を求める要請行動が行われました。本県では、川上農業会議会長及び各市町村農業委員会会長等により愛知県選出の自由民主党国会議員に要請を行うとともに、意見交換会を開催しました。鈴木淳司衆議院議員始め7名の国会議員と9名の国会議員秘書の方々の参加をいただき、活発な意見交換が行われました。これに併せて、民進党、公明党、共産党、無所属クラブの愛知県選出国会議員に要請を行いました。



【要請書を手渡す川上会長】

また、大会の翌日は、東京都江東区の「東京ファッションタウンビル」において、全国農業会議所の大出新聞業務部長から「農地利用の最適化に向けた今後の情報事業について」と題する講話を聞いた後、全国農業新聞の印刷工場である江東区の廣済堂有明工場を見学しました。

◎ 都道府県農業会議事務局長会議が開催されました

5月9日に東京都千代田区の「弘済会館」において、一般社団法人全国農業会議所主催による都道府県農業会議事務局長会議が開催されました。

会議の開催にあたり、柚木全国農業会議所専務理事から、「農業委員会の新体制への移行が進んでいる。農地利用最適化についてしっかり理解していただき、農業委員会、農業会議、農地中間管理機構の三位一体で集積率8割を目指したい。」と挨拶がありました。農林水産省からは、経営局農地政策課の杉原経営専門官及び平経営専門官が出席しました。

協議事項として、①農業委員会組織・制度をめぐる情勢と今後の対応、②平成29年度全国農業委員会会長大会、③各部の業務推進の重点、④情報事業の推進、⑤一般社団法人の業務運営等について説明がありました。

このうち、①では、平成28年度の前算執行率が低かった農地利用最適化交付金を十分に活用するよう依頼がありました。

一方、平成29年度の内示額が予算を大きく下回った機構集積支援事業については、当面の対応として、都道府県内での配分の調整、研修会等の農地中間管理機構との合同開催、平成30年度予算に向けた項目の検討といった説明がありましたが、各県農業会議からは、「減額幅が大きいので経費の節減には自ずと限界がある」、「農地中間管理機構との連携は従来から行っている」、「平成30年度の前に平成29年度の予算の確保が急務である」などといった意見や要望が出されました。

また、平成29年度全国農業委員会会長大会について、大会運営分担、提出議案、申し合わせ決議等について協議を行いました。

この他、「全国農業新聞・全国農業図書」の発行状況、普及強化、農地利用集積・遊休農地対策、全国農地ナビ等について説明がありました。

◎ 常設審議委員会（5月）の審議状況について

5月9日に「愛知県三の丸庁舎」において、農地法等に係る農業委員会からの諮問に対する答申を審議する常設審議委員会を開催しました。

5月の諮問は、農地法第4条に基づく転用事案1件、8,681㎡、同第5条に基づく転用事案10件、54,908㎡についてそれぞれ審議し、いずれも諮問のとおりで差し支えない旨承認されました。

◎ 関西茶業振興大会愛知県大会実行委員会が開催されました

5月15日に豊田市の「豊田市役所西庁舎」において、第70回関西茶業振興大会愛知県大会実行委員会が開催されました。この大会は、加盟する6府県で生産される茶の特徴を明らかにし、生産技術や品質の向上を通じて茶業の振興を図ることを目的とする行事であり、本年は愛知県内で開催されます。

実行委員会の委員長である石川哲雄愛知県茶業連合会会長の挨拶の後、大会の開催内容、収支予算、関係機関等への出席依頼について協議を行い、いずれの事項も了承されました。

◎ 農業委員会会長・事務局長会議を開催しました

5月16日に「愛知県三の丸庁舎」において、農業委員会会長・事務局長会議を開催しました。

川上会長の主催者挨拶及び兼原県農業振興課長の来賓挨拶の後、協議報告事項に入りました。

農業会議事務局から平成29年度の総務課、農政課の事務事業を始め、今年7月に大半の農業委員会において任期満了を迎えることに伴う農業会議の役員等の交代の手續及びこのたび54農業委員会を対象に実施した「農地利用最適化の推進と農地中間管理

事業に関するアンケート結果」について説明しました。

協議報告後、研修事項として、愛知県農地中間管理機構である公益財団法人愛知県農業振興基金の可知祐一郎理事長及び佐藤新農地集積推進部長をお招きして、「平成29年度農地中間管理事業の進め方」についてお話しいただきました。

参加者からは、農地中間管理事業で基盤整備を実施する際の条件や地元負担などについての質問が出されました。



【質問に答える可知理事長】

◎ 海部地区農業委員会協議会総会が開催されました

5月18日に津島市の「愛知県海部総合庁舎」において、海部地区農業委員会協議会総会が開催されました。

日永会長から「農業委員会法の改正により農地利用の最適化が所掌事務とされ、また農業委員の選出方法も改められた。農業委員と農地利用最適化推進委員の役割分担と意思疎通を図り、今後も協力をお願いしたい。」との挨拶がありました。

議事に入り、平成28年度の事業報告、歳入歳出決算、平成29年度の事業計画、歳入歳出予算等の議題が提出され、全て原案どおり承認されました。

◎ 愛知県花き温室園芸組合連合会通常総会が開催されました

5月22日に名古屋市中区の「桜華会館」において、第59回愛知県花き温室園芸組合連合会通常総会が開催されました。

中神享三会長から「愛知県は花きの生産が全国一であり、これまで生産の振興と消費の拡大に取り組んできたが、状況は次第に厳しくなっている。」との挨拶がありました。

議事に入り、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算並びに役員改選等の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

◎ 愛知県4Hクラブ連絡協議会通常総会が開催されました

5月22日に「愛知県三の丸庁舎」において、平成29年度愛知県4Hクラブ連絡協議会通常総会が開催されました。4Hクラブは、よりよい農村、よりよい日本を創るため四つの信条を掲げており、4Hは、Hands、Head、Heart、Healthを指しています。

総会では、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算並びに役員改選の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

役員改選では、大澤真澄会長（豊田みよし）は、留任となりました。

◎ **愛知県農村生活アドバイザー協会通常総会が開催されました**

5月23日に名古屋市中区の「ルブラ玉山」において、平成29年度愛知県農村生活アドバイザー協会通常総会が開催されました。

都築ふじ江会長の挨拶後議事に入り、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算並びに役員改選の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

その後、名古屋園芸株式会社の小笠原誓代表取締役社長を講師として、「小売店の挑戦と園芸番組の今～新しい価値を創造する～」と題した記念講演がありました。

◎ **愛知県国際農友会通常総会が開催されました**

5月23日に名古屋市中区の「名古屋栄東急R E I ホテル」において、平成29年度愛知県国際農友会通常総会が開催されました。

天野治会長の挨拶後議事に入り、平成28年度事業報告及び収支決算、平成29年度事業計画及び収支予算等の議案が提出され、全て原案どおり承認されました。

その後、平成29年度海外農業研修生歓迎会が開催されました。

◎ **愛知県耕作放棄地対策協議会通常総会が開催されました**

5月24日に「愛知県庁西庁舎」において、愛知県耕作放棄地対策協議会通常総会が開催されました。

平成28年度事業報告及び収支決算並びに平成29年度事業計画及び収支予算は、いずれも承認されました。平成28年度は、本協議会から九つの地域耕作放棄地対策協議会等に対し耕作放棄地再生利用交付金約1,298万円が交付されました。平成21年度からの8年間で約3億9千万円が活用され、約74haの耕作放棄地が新たに再生されています。

◎ **新聞・出版事業ブロック会議（中日本ブロック）が開催されました**

5月25日、26日に石川県七尾市において、全国農業会議所の主催により、平成29年度新聞・出版事業ブロック会議（中日本ブロック）が開催されました。

この中で、岩佐情報事業本部長兼出版部長他から平成29年度全国農業新聞普及推進に向けた年度前半の重点取組の一つとして、**新体制移行農業委員会での農業委員・農地利用最適化推進委員の全員購読の徹底**について依頼がありました。

◎ **平成29年春の叙勲で元農業委員会会長が受章されました。**

平成29年春の叙勲で、寺島 正氏（名古屋市）が旭日単光章の栄に浴されました。

寺島氏は、平成11年に農業委員となり、平成17年から26年まで名古屋市農業委員会

会長を務められ、名古屋市の農業・農村の発展に尽力されました。また、本会議の常任会議員として格別のご指導をいただきました。

その功績に改めて敬意を表しますとともに、心からお祝い申し上げます。

◎ 今後の主な行事予定

- 6月 5日 理事会、常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 6月 8日 農業者年金5者協議（JAあいちビル）
- 6月13日 農業者年金担当者会議及び新任担当者研修会（JAあいちビル西館）
- 6月20日 通常総会、理事会（県三の丸庁舎）
- 6月20日 総会后研修会（県三の丸庁舎）
- 6月28日 全国農業会議所通常総会（都市センターホテル）
- 7月 3日 稲作経営者会議通常総会（名古屋クラウンホテル）
- 7月 4日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 7月28日 知多地域協議会（半田市役所）
- 7月31日 海部地域協議会（愛西市役所）
- 8月 2日 東三河地域協議会（豊橋市役所）
- 8月 2日 新城設楽地域協議会（新城市勤労青少年ホーム）
- 8月 3日 西三河地域協議会（西尾市役所）
- 8月 3日 豊田加茂地域協議会（豊田市役所）
- 8月 4日 尾張地域協議会（県三の丸庁舎）
- 8月 7日 理事会（県三の丸庁舎）
- 8月 9日 常設審議委員会（県三の丸庁舎）
- 8月22日 臨時総会、理事会（県三の丸庁舎）

お知らせ

県農業会議に農地相談員・農業者年金総合指導員を設置

県農業会議では、農業会議内に農地相談員・農業者年金総合指導員を設置し、農地・農業者年金等に関する相談を受付けています。お気軽にご相談ください。

- 相談内容 農地の貸借・売買等に関する相談、農業者年金に関する相談
- 相談時間 毎週火・水・金曜日、午前9時～午後5時まで（正午～午後1時は除く。）
- 問い合わせ先 TEL 052-953-5877 ・ FAX 052-953-0399
- 相談指導員 農地相談員・農業者年金総合指導員 伊奈 学